

(整理番号)

罹災(被災)証明書 交付申請書

記載例

(宛先) 長生村長

世帯主住所	長生村本郷〇〇〇〇		
世帯主氏名	長生 太郎	連絡先〇〇 - △△ - ××	
世帯構成員	氏 名	続柄	年齢
	長生 太郎	本人	〇〇
	長生 花子	妻	△△
	長生 一郎	子	××

原因	令和8年9月21日の(台風25号)による
----	------------------------

物件	☒ 住家 (☒ 持家 ☐ 貸家 ☐ 借家 (所有者名 :))		
	☒ 非住家 (☐ 倉庫 ☐ カーポート ☐ 店舗 ☒ 家財) (☐ その他 ())		
	☒ 車両 (メーカー: トヨタ 車名: プリウス 標識番号: 〇〇-××)		
場所	長生村 本郷〇〇〇〇		
被害の状況	※できるだけ詳しくご記入ください。(被害状況・箇所の分かる写真を添付) 令和〇年〇月〇日の台風第〇〇号により自宅内に浸水。浸水は床上〇〇cmまで達し、机や椅子をはじめ、テレビやパソコン等電子機器類も水に浸かってしまった。また、室外機が水没・雨樋が複数箇所外れ、自家用車(標識番号: 〇〇-××)も水没し、エンジンがかからなくなってしまった。		
被害の程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☒ 準半壊に至らない(一部損壊) ☒ 床上浸水 5cm ☐ 床下浸水 ☐ その他(風害・落雷・土砂流入) ☒ 家財等の被害 (室外機・車両の水没、雨樋)		
使用目的	☒ 保険請求 ☐ 勤務先提出 ☐ 被災者支援制度 ☐ その他()		
必要部数	☐ 通	受取場所	☐ 郵送 ☒ 窓口

上記のとおり、罹災したことを証明願います。

令和〇年〇月〇日 氏名 長生 太郎

(裏面へ)

(裏 面)

判定方式	☒ 現地確認による判定を希望します。 ☒ 被害認定調査を迅速に行うため、固定資産税課税台帳等に記載された建物の所在・地番、床面積、構造、図面といった情報を利用することについて所有者等の同意を得ています。 ☐ 自己判定方式を希望します。 かつ、「準半壊に至らない(一部損壊)」という調査結果に同意します。
------	---

〈罹災証明書について〉

- ・ 本村で発生した災害により被害を受けた「住家」の「被害の程度」を証明するものです。
(被災の発生箇所が長生村以外の場合は、発生地の自治体に申請ください)
- ・ 申請時に、窓口に来られた方の住所・氏名がわかる書類(運転免許証・マイナンバーカード等)の提示をお願いします。
- ・ 代理の方が申請に来られる際は、委任状の記載が必要となります。(同一世帯の場合は不要です。その際は、①委任状(罹災者)の押印、または、②委任者(罹災者)の本人確認書類(運転免許所、健康保険証など)の写しが必要です。
- ・ 被害状況、箇所のわかる写真の添付をお願いします。
- ・ 写真で判定できない場合は、現地確認(調査)を行います。ご協力をお願いします。
- ・ 「被害の程度」は住家を屋根、壁、構造体等の部位別に、表面に現れた被害を観察して判定します。

※表面に現れない被害(例：地中の杭の折損、壁、構造体等の内部素材そのものの被害等)がある場合には、この証明の「被害の程度」と異なることもあります。

- ・ 罹災証明書の被害の程度は以下の区分で分類されます。
(※村職員(調査員)による「住家の被害認定調査」を行い、被害程度を判定します。)

住宅の損害割合	証明される被害程度
50%以上	全壊
40%以上50%未満	大規模半壊
30%以上40%未満	中規模半壊
20%以上30%未満	半壊
10%以上20%未満	準半壊
10%未満	一部損壊

〈住家以外の被害について〉

- ・ 本村で発生した災害で「住家」以外の不動産又は動産(家財や自動車など)の被害については、「住家以外の被害(被災証明書)」として証明書に表示します。
- ・ 車両が被災した場合は、破損箇所と標識番号が確認できる写真を添付してください。

(村 事務処理欄)

身分確認	免許証 保険証 マイナンバーカード その他()		
住民登録	あり なし		
確認方法	公共料金 契約書 その他()		
添付書類	写真 見積書 領収書 委任状 その他() / なし		
調査票番号		処理状況	済 未済
証明番号			()
備考			受付